

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)		授業形式						
E111B001		教師学 (Teacher education)							対面						
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語		その他に使用する言語		担当形態					
必修	2	1	教育学部		金1	日本語				オムニバス					
担当教員	氏名 住岡敏弘, 麻生良太, 伊藤安浩, 長谷川祐介, 藤田敦, 吉野敦														
	E-mail sumioka@oita-u.ac.jp,ryoaso@oita-u.ac.jp,yasuhiro-ito@oita-u.ac.jp,yhasegawa@oita-u.ac.jp,a-fujita@oita-u.ac.jp,ayoshino@oita-u.ac.jp 内線 7532,7584,7636,7541,7614,7539														
授業の概要	社会の変化に伴い, 学校や子どもを取り巻く状況が大きく変わってきている今日, 教師には教育問題解決に対するさまざまな資質や能力が要請されている。いいかえれば, 教師は社会から多様な要請を投げかけられ, その結果多くの困難に直面しているといえよう。 この授業は, 以上のような現状認識に基づき, 教育公務員・学校組織の一員としての教師の役割について考えるとともに, 教職をめぐる改革動向や学校や子どもを取り巻く状況を理解し, 現代の教師に求められる資質や能力などを考え理解することを通して, 自分のめざす教師像を形作っていくことをねらいとする。														
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)		1	2	3	4	5	6	7
目標1	教師としての職務・服務を理解する。								○	○	○	○	○	○	
目標2	学校組織の一員としての教師の職務を説明できる。								○	○	○	○	○	○	
目標3	教師に求められる資質・能力について考察するとともに, 求められる教師像について探求(省察)することができる。								○	○	○	○	○	○	
目標4															
目標5															
目標6															
目標7															
目標8															
目標9															
目標10															
各DPへの関連度(計10)									2	2	2	2	1	1	
授業の内容															
1	オリエンテーション(担当:住岡敏弘)														
2	教員の仕事の実際(担当:長谷川祐介)														
3	教員に求められる資質・能力/教員の資質向上と研修(担当:長谷川祐介)														
4	戦後日本教育史における教師観の変遷①(担当:吉野敦)														
5	戦後日本教育史における教師観の変遷②(担当:吉野敦)														
6	教育課程と学習指導要領①(担当:伊藤安浩)														
7	教育課程と学習指導要領②(担当:伊藤安浩)														
8	就学前教育、小学校と中学校の連携(担当:藤田敦)														
9	授業の改善と教員研修・校内研究(担当:藤田敦)														
10	教員の服務・義務(担当:麻生良太)														
11	学校組織と学校経営マネジメント(チーム学校を含む)(担当:麻生良太)														
12	学校や子どもを取り巻く状況(担当:麻生良太)														
13	教員採用試験(担当:麻生良太)														
14	教育を支える教育法規(担当:住岡敏弘)														
15	教育行政・学校制度と教員の関わり方(担当:住岡敏弘)														
ラーニング	A:知識の定着・確認		各テーマに関するワーク, グループディスカッション, 調べ学習や発表等を実施する。						工夫その他の						
	B:意見の表現・交換		○												
	C:応用志向														
	D:知識の活用・創造		○												
授業時間外学修の内容と想定時間	準備学修		各回の講義テーマに関する事例について, 文献や記事等を調べる(20h)												
	事後学修		各講義において指示される課題等に取り組む(25h)												
	想定時間合計		45												
教科書	教科書は指定しない。必要な資料については, 講義内で配布する。														
参考書	参考書は講義内で紹介する。														

成績評価の方法及び評価割合	評価方法		割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	各講義テーマに関するレポート		50%	○	○	○							
	講義内の課題への取り組み		50%	○	○	○							
①講義内の課題への取り組みと各回で課される課題への回答により評価します。													
注意事項	①遅刻や欠席については厳しく取り扱います。												
	②講義に関する情報はMoodleのアナウンスメントに上げるので逐次確認してください。												
	③学習指導要領，中教審答申，関係文献，インターネット，Moodle等を活用して，学習を深めてください。												
	④課題作成における剽窃(コピペ)などの不正行為には厳正に対処します。												
備考	※この科目は『地域創生教育科目』です。												
リンク													
	URL												